

## 総説、解説など (すべてのリスト)

- 1) 化学蒸着法による単結晶の成長に関する研究、元島栖二、東海化学工業会会報 100,2-4(1980).
- 2) 人工単結晶に魅せられて (元島栖二)、化学、38,698-702(1983).
- 3) ドライな表面処理法について-用語と略語-、元島栖二、表面、22 (11)、668-671 (1984)
- 4) 最近のCVD技術とその動向 (1)、元島栖二、材料技術、2, 689-693(1984).
- 5) 最近のCVD技術とその動向 (2)、元島栖二、材料技術、3, 180-186(1985).
- 6) プラズマCVDの最新技術、元島栖二、材料技術、3,371-379(1985).
- 7) 薄膜コーティング、元島栖二、色材協会中部支部第13回パネル討論会“機能性付与のコーティング”予稿集、(1985年9月、名古屋)、1-10.
- 8) CVD法による機能性賦与コーティング(上)、元島栖二、機能材料、1986年2月号、33-41.
- 9) CVD法による機能性賦与コーティング(下)、元島栖二、機能材料、1986年3月号、33-44.
- 10)  $\text{Si}_3\text{N}_4$ ,  $\text{SiC}$  合成用新原料 — $\text{Si}_2\text{C}_{16}$ —、元島栖二、岩森則行、工業材料、34(1), 108-109(1986).
- 11) 金をもしのぐファッションメッキ—超硬カラーメッキの出現—、元島栖二、化学、41, 172-176(1986).
- 12) ドライプロセスによる有色超硬・ファッションメッキ—黄金色 TiN メッキを中心に(その1)—、元島栖二、工業材料、34(2), 95-100(1986).
- 13) ドライプロセスによる有色超硬・ファッションメッキ—黄金色 TiN メッキを中心に(その2)—、元島栖二、工業材料、34(3), 106-111(1986).
- 14) ドライプロセスによる有色超硬・ファッションメッキ—黄金色 TiN メッキを中心に(その3)—、元島栖二、工業材料、34(5), 106-111(1986).
- 15) 期待される絶縁、保護膜材料 —窒化リン、ホスロン膜—、元島栖二、工業材料、34(10), 20-21(1986).
- 16) 新しいファインセラミック材料、炭窒化ホウ素(BCN) —その性質と応用—、元島栖二、工業材料、34(11), 21-23(1986).
- 17) 最近のプラズマCVD法とその応用、元島栖二、日本接着協会誌、22、550-557(1986).
- 18) CVD法による機能性膜の合成とその応用、元島栖二、化学工業、1986年10月号、829-836.
- 19) CVD法による複合セラミックスの合成、元島栖二、化学と工業、39, 700-701(1986).
- 20) 高耐蝕性化学気相メッキ銅板、元島栖二、工業材料、34(13), 9-13(1986).
- 21) 新しい高速膜形成法 —熱泳動CVD法—、元島栖二、表面、24, 728-731(1986).
- 22) 最近のエンジニアリング機能性膜の化学気相合成、元島栖二、機能材料、1987年4月号、47-59.
- 23)  $\text{Si}_2\text{Cl}_6$  を用いた金属の低温ガス拡散処理、元島栖二、服部達彦、工業材料、35(1), 19-23, 73(1987).
- 24) 化学気相メッキ—海洋材料用保護膜として—、元島栖二、化学工業、1987年4月号、355-359.
- 25) セラミックス系機能性複合材料の合成とその応用、元島栖二、機能材料、1987年5月号、52-64.
- 26) 新しい誘電体膜 —窒化リン( $\text{P}_x\text{N}_y$ )、酸窒化リン( $\text{P}_x\text{N}_y\text{O}_z$ ) 膜の合成—、元島栖二、機能材料、1987年6月号、52-57.
- 27) CVD法によるホウ素及びホウ素化合物の合成とその応用、元島栖二、ファインセラミックス、8, 18-27(1987).
- 28) 光CVD法とその応用例、元島栖二、表面、25, 635-646(1987).
- 29) CVD膜の均一性と浸透力 ---驚異的浸透力を示すパルスCVD法---、元島栖二、化学工業、1987年6月号、515-525.
- 30) 最近のウィスカー合成の進歩、元島栖二、化学工業、1987年10月号、858-863.
- 31) 電子顕微鏡でみたミクロな美の世界 ---結晶が作り出すサイエンスアート、元島栖二、化学、42(8), 528-533(1987).
- 32) CVD法による耐熱性透明セラミックス膜の合成、元島栖二、化学、42, 364-365(1987).
- 33) 電子顕微鏡の材料技術への応用 ---非酸化物系ファインセラミックス---、元島栖二、材料技術 5, 310-313(1987).

- 34) 拡散法により鉄基板表面に成長したケイ化鉄結晶、元島栖二、山口和子、実務表面技術、34, 274-276(1987).
- 35) 最近のコーテッド工具とその切削特性、元島栖二、機械の研究、39, 789-796(1987).
- 36) SiC ウィスカー強化複合セラミックスの開発、元島栖二、化学と工業、40, 786-787(1987).
- 37) CVD被覆技術の現状と課題、小宮山宏、元島栖二、日本機械学会、第659回講習会“先端技術は化学プラントにどう生かされるか”教材(1987年11月、東京).
- 38) CVD-SiNx、元島栖二、化学工学協会CVDプロジェクト研究会中間報告書2(1987年)、115, 167-170.
- 39) 銅および銅合金への高耐蝕性化学気相メッキの開発、元島栖二、ACTIVE, 技術年報・東海 (UPU名古屋、1987)、120.
- 40) CVD法により得られたケイ化クロム結晶(1)、元島栖二、実務表面技術、35, 359-361(1988).
- 41) CVD法により得られたケイ化クロム結晶(2)、元島栖二、実務表面技術、35, 455-457(1988).
- 42) 改良フィラメント法により合成されたバルク単結晶、元島栖二、杉山幸三、実務表面技術、35, 232-233(1988).
- 43) 超材料の気相合成、元島栖二、岐大ひろば、第8号、pp. 7-9 (1988).
- 44) セラミックスに関する顕微鏡写真展・CVD法により得られたスパイラル状 Si<sub>3</sub>N<sub>4</sub> ウィスカー、元島栖二、セラミックス、23(8)、765 (1988).
- 45) 気相から成長する結晶—ミクロな美の世界—、元島栖二、第6回人工鉱物工学会特別講演会講演要旨集、19-24 (1988)
- 46) 単結晶の美、元島栖二、産経新聞、1988年6月より1989年12月まで連載
- 47) なんと、ばねが成長してきた ---窒化ケイ素製マイクロバネの気相一段合成---、元島栖二、服部達彦、岩永浩、バウンダリー、5(3)、40-43(1989).
- 48) CVD膜中の塩素含有量、元島栖二、化学工学協会CVDプロジェクト研究会第2年度報告書、450-453(1989).
- 49) CVD膜の密着性、元島栖二、化学工学協会CVDプロジェクト研究会第2年度報告書、438-449(1989).
- 50) AlN、BNの耐食性と硬度、元島栖二、化学工学協会CVDプロジェクト研究会第2年度報告書、427-435(1989).
- 51) Ti系及びSi系化合物の耐蝕性、元島栖二、化学工学協会CVDプロジェクト研究会第2年度報告書、415-426(1989).
- 52) SiC、Si<sub>3</sub>N<sub>4</sub>の微小硬度、元島栖二、化学工学協会CVDプロジェクト研究会第2年度報告書、401-414(1989).
- 53) TiN、TiCN、TiCの微小硬度、元島栖二、化学工学協会CVDプロジェクト研究会第2年度報告書、387-400(1989).
- 54) 結晶の非幾何学的模様之美しさ、岩永浩、元島栖二、表面技術、40, 1246-1250(1989).
- 55) CVD法によるコイル状窒化ケイ素の合成、元島栖二、服部達彦、岩永浩、ファインセラミックス、10, 69-73(1989).
- 56) コイル状窒化ケイ素ファイバーの気相合成、元島栖二、岩永浩、金属、1989年6月号、47-52.
- 57) Cr・Fe・Si系単結晶の結晶構造とモルフォロジー、岩永浩、柴田昇、元島栖二、広松一男、上原勝景、長崎大学教養部紀要 自然化学編、30(1)、19-29(1989).
- 58) In-situ CVD法によって成長したCr・Fe系単結晶、岩永浩、柴田昇、元島栖二、広松一男、上原勝景、長崎大学教養部紀要 自然化学編、30(1)、11-17(1989).
- 59) 化学気相合成された単結晶—そのアートと感性—、元島栖二、平成元年度6大学工学系大学院修士課程合同セミナー実施資料、73-78 (1989).
- 60) 炭素繊維でできたミクロなスプリング、現代化学、1990年1月号.
- 61) コイル状窒化ケイ素ファイバー、元島栖二、新材料 '90 (東レリサーチセンター)、362-363(1990).
- 62) コイル状炭素繊維、元島栖二、岩永浩、高分子、39, 444(1990).
- 63) 窒化ケイ素ファイバーの評価、岩永浩、元島栖二、金属、1990年7月号、90-93.
- 64) 窒化ケイ素ファイバーの評価、岩永浩、元島栖二、ファインセラミックス、11(3)、110-115(1990).
- 65) 電顕で見た自然の造形美、元島栖二、化学、45, 532-536(1990).

- 66) 気相から得られたセラミックの結晶、元島栖二、名古屋工業会誌、No. 253, 8-16 (1990)
- 67) コイル状セラミックス繊維、元島栖二、川口雅之、岩永浩、現代化学、1990年9月号、12-18.
- 68) 新しい繊維状無機ファイバー ---コイル状セラミックスファイバー---、元島栖二、川口雅之、岩永浩、石膏と石灰、228, 347-353(1990).
- 69) CVD法によるエンジニアリングセラミックス膜の低温合成とその評価—新規のBNP膜の低温合成とその耐湿性、元島栖二、旭硝子工業技術奨励会研究報告、57, 73-81(1990).
- 70) 新しい工業材料、コイル状セラミックスファイバー、元島栖二、川口雅之、野崎浩二、岩永浩、工業材料、38(12), 64-68(1990).
- 71) CVD法により得られる結晶の形態とその機能、元島栖二、岩永浩、ポリファイル、28(10), 27-31(1991).
- 72) ミクロコイル状カーボンファイバーの合成、川口雅之、元島栖二、岩永浩、炭素原料科学の進歩 III、(CPC研究会、1991)、76-82.
- 73) コイル状セラミックファイバー、元島栖二、川口雅之、岩永浩、セラミックデータブック '91、工業と製品 No73, pp.111-115, 工業製品技術協会 (1991).
- 74) 弾力性コイル状カーボンファイバー、元島栖二、新材料 '91 (東レリサーチセンター)、350-351(1991).
- 75) コイル状セラミックスファイバーの気相合成、元島栖二、INTER、技術論文集「大学研究室編」'91、193(1991).
- 76) 10mg以下の荷重で引っ張り強度を測定、窒化ケイ素マイクロばねのばね特性、岩永浩、元島栖二、バンダリー、1991年2月号、24-27.
- 77) コイル状カーボンファイバーの気相合成、元島栖二、川口雅之、岩永浩、炭素、1992(No.151), 41-50.
- 78) Single crystal growth by chemical vapor deposition and morphology of binary and ternary compounds, S. Motojima and H. Iwanaga, J. Chem. Vapor Deposition, 1, 87-129(1992).
- 79) コイル状セラミックスファイバーの気相合成、元島栖二、第23回三菱財団事業報告書、264-265(1992).
- 80) コイル状セラミックファイバー：その構造と物性、岩永浩、元島栖二、川口雅之、日本物理学会誌、47(1), 10-17(1992).
- 81) CVD法によるコイルファイバー強化超高温傾斜機能材料の開発、元島栖二、岩谷直治記念財団研究報告書、15, 69-71(1992).
- 82) 新規のコイル状炭化ケイ素ファイバーの合成と成長メカニズム、元島栖二、平成5年度池谷科学技術振興財団年報、184-190(1993).
- 83) CVD法による超材料の合成とその評価、元島栖二、IF Report, 20, 89-97(1993).
- 84) 日常の中の化学トリック、超硬カラーメッキ、元島栖二、化学、48(12), 817-819(1993).
- 85) CVD法によるコイルファイバー強化超高温傾斜機能材料の開発、元島栖二、岩谷直治記念財団研究報告書、16, 21-25(1993).
- 86) Growth mechanism and properties of coiled whiskers of silicon nitride and carbon, H. Iwanaga, M. Kwaguchi, and S. Motojima, Jpn. J. Appl. Phys., 32, Part 1, 105-115(1993).
- 87) CVD法による最近の表面処理技術、元島栖二、表面技術総合展 ME T E C '94 (表面技術協会、他編、1994)、38-41.
- 88) リン化物ホイスキアーのX線回折、藤井光廣、岩永浩、元島栖二、長崎総合科学大学紀要、35 (2)、pp. 229-242 (1994).
- 89) Si<sub>2</sub>Cl<sub>6</sub>を用いた金属の低温ガス拡散処理法、元島栖二、黒沢和芳、服部達彦、熱処理、34 (5)、270-275 (1994)
- 90) CVD法によるコイル状カーボンファイバーの合成と評価、元島栖二、長谷川功、マツダ財団研究報告、7, 73-78(1995).
- 91) マイクロコイル状SiC及びTiCファイバーの気相合成とその性質、元島栖二、岩永浩、化学工業、1995年4月号、pp.338-342(1995).
- 92) 各種CVD薄膜形成技術、セラミックス薄膜、元島栖二、化学工学、vol.60(12), pp.883-885(1996).
- 93) ミクロの世界を旅する、元島栖二、化学、vol.51(12), pp.749-751(1996).
- 94) 右巻き材料、左巻き材料—マイクロコイル状炭素繊維を中心に—、元島栖二、岩永浩、材

- 料科学、vol.33(4), pp.150-151(1996).
- 95) マイクロコイル状炭素繊維の気相合成とその特性、元島栖二、岩永浩、炭素、1996(N0.174), pp.215-224(1996).
  - 96) 新技術事業団平成 7 年度実験調書「マイクロコイル状炭素繊維の気相合成法」報告書、pp.1-25(1996).
  - 97) 平成 6~7 年度科学研究費補助金、試験研究(B)研究成果報告書、pp.1-135(1996).
  - 98) セレンディピティーとマイクロコイル状セラミックファイバーの開発、元島栖二、岐阜大学工業倶楽部会報、16 号、pp.4-5 (1996) .
  - 99) 科学技術振興事業団平成 8 年度実験調査「マイクロコイル状セラミック繊維の気相合成法」報告書、pp.1-95(1997).
  - 100) 高温耐蝕性セラミック材料について、元島栖二、超高温材料国際シンポジウム'97 in 「たじみ」、 pp.102-112(1997).
  - 101) 新規の電磁波吸収材：カーボンマイクロコイルの気相合成とその電磁波吸収特性、元島栖二、岩永浩、機能材料、vol.17(7), pp.37-44(1997).
  - 102) コスモ・ミメティックなカーボンマイクロコイルの気相合成とその電磁波吸収特性、元島栖二、岩永浩、V. K. Varadan、表面、vol.36(3), pp.140-148(1998).
  - 103) 新規のコスモ・ミメティックなカーボンマイクロコイルの気相合成とその電磁波吸収特性、元島栖二、岩永浩、EMC、1998.4.5 (No.120), pp.50-60(1998).
  - 104) 新しい電波吸収体、コスモミメティックなカーボンコイルの気相合成とその電磁波吸収特性、元島栖二岩永 浩、V.K.Varadan, “電磁シールドの最新技術”、(CMC,1998)、pp. 158-169(1998).
  - 105) ニューカーボン解説—コスモミメティックなカーボンコイル、元島栖二、ニューカーボンフォーラムだより、vol.3(2), pp.4(1998).
  - 106) 夢の電磁波吸収材、コスモミメティックなカーボンマイクロコイル、元島栖二、技術の最先端を切り拓く新材料 1998(東レリサーチセンター)、pp.216-218(1998).
  - 107) コスモミメティックなカーボンマイクロコイルの気相合成とその特性、元島栖二、電子顕微鏡、vol.34(2), pp.108-110(1999).
  - 108) 結晶の不思議、極美の世界の二重構造、電磁波吸収などに応用期待、元島栖二、サイアス Apr.、pp.36-39(1999).
  - 109) ヘリカル構造の気相成長炭素繊維、元島栖二、セラミックデータブック'99、工業と製品(工業製品技術協会編、(株)テクノプラザ)、vol.28(81), pp.70-71(1999).
  - 110) 新しい電磁波吸収体、カーボンマイクロコイル、元島栖二、岩永 浩、V.K. Varadam, 「新電波吸収体の最新技術と応用」(分担執筆、監修：橋本 修、シーエムシー)(初版)、pp. 101-112(1999).
  - 111) 電磁波をらせんで消す男、元島栖二、テクノマエストロ、pp. 222-223(1999).
  - 112) コスモミメティックなカーボンマイクロコイルの創製と将来性、元島栖二、緑会ニュース、平成 11 年 5 月号、pp.14-15(1999).
  - 113) 気相合成されたカーボンマイクロコイルのモルフォロジー、藤井光廣、大黒 貴、藤岡正見、元島栖二、岩永 浩、長崎総合科学大学紀要、vol.40 (1)、pp.21-26 (1999).
  - 114) カーボンマイクロコイル研究の現状と展望、第 154 回科学技術展望懇談会資料(テクノバ)、(1999.11).
  - 115) Q & A カーボンマイクロコイルの作り方、成長機構、性質、応用について教えてください、炭素、2000(191)、pp.87(2000).
  - 116) コスモミメティックなカーボンマイクロコイルの気相合成とその特性、元島栖二、Material Technology、18(1), pp.12-19(2000).
  - 117) バイオミメティックからコスモミメティックへ、カーボンマイクロコイルの創製、元島栖二、東海化学工業会会報、217, pp.2-5 (2000).
  - 118) Preparation of graphite micro-coils by the heat-treatment of carbon micro-coils, X.Chen, W.In-Hwang, T.Kuzuya, M.Kohda, Y.Hishikawa, H.Iwanaga and S.Motojima, Proc. 1st Asian Conference on Crystal Growth and Crystal Technology, (2000/8/29-31, Sendai) .
  - 119) 化学蒸着 (CVD)、「表面処理工学、基礎と応用」(分担執筆、表面技術協会編、2000)、pp. 138-145(2000).

- 120) カーボンマイクロコイル、「カーボン用語辞典」(分担執筆、アグネ承風社)、pp. 47(2000).
- 121) コスモミメティックなカーボンマイクロコイルの創製、元島栖二、NEW DIAMOND、vol.16(3)、p.32-33、2000年7月号(58号).
- 122) 基礎技術も技術移転の仕組みもオリジナルーカーボンマイクロコイル、元島栖二、セラミックス、vol.36(10)、pp.772-774(2001).
- 123) コスモミメティックなカーボンマイクロコイル/ナノコイル、元島栖二、未来材料、vol.1(9)、pp.6-12(2001).
- 124) コスモミメティックなカーボンマイクロコイル[ヘリカル/らせん構造物質]の創製、元島栖二、ごきそ10月号(名古屋工業会会誌)、No.380、pp.4-8(2001).
- 125) ニケイ化鉄(FeSi<sub>2</sub>)単結晶一鉄からできたマイクロサッカーボール、“図説造粒 粒の世界あれこれ”、(日刊工業新聞社、日本粉体工業技術協会編)、pp.118(2001).
- 126) 美しいミクロの世界ーセラミックス結晶の素顔、「図説造粒 粒の世界あれこれ」(日刊工業新聞社、日本粉体工業技術協会編)、pp. 171-175(2001).
- 127) 平成11年度賢材研究会報告、元島栖二、賢材研究会報告集、p.37(2001).
- 128) カーボンマイクロコイルー新規研究開発および新産業創出のためのシーズマテリアルズー、菱川幸雄、元島栖二、ケミカルエンジニアリング、vol.46(11)、pp.879-885(2001).
- 129) 第8回材料技術研究協会論文賞報告、論文賞、Material Technology、vol.19(4)、pp.123(2001).
- 130) カーボンマイクロコイル(CMC)の形態と微構造、橋新 剛、岩永 浩、元島栖二、材料技術、vol.19(6)、pp.293-298(2002).
- 131) 産学連携による技術移転例ー新素材「カーボンマイクロコイル」のベンチャー企業「シーエムシー技術開発(株)」の設立、元島栖二、ごきそ2月号(名古屋工業会会誌)、No. 383、pp.1-2(2002).
- 132) コスモ・ミメティックなカーボンマイクロコイル/ナノコイル、元島栖二、賢材の事例集(賢材研究会)、pp.III-4、(2002).
- 133) カーボンマイクロコイル/ナノコイル、元島栖二、日経ナノテク年鑑(2002-2003年度版)(印刷中).
- 134) カーボンナノコイルの合成とその物性、元島栖二、日本学術振興会素材プロセッシング第69委員会第1分科会/第39回第2分科会、第52回合同研究会資料、pp.70-75(2002).
- 135) 大学における技術移転例、基礎技術を技術移転の仕組みもオリジナルーカーボンマイクロコイル、元島栖二、日本開発工学会誌(印刷中).
- 136) Preparation of carbon microcoils/nanocoils and ceramic microcoils, and their properties, S. Motojima, H. Iwanaga, T. Hashishin, T. Tsuda, Proc, 13th Int. Symp. on Micromechatronics and Human Science, (2002/10/20-23, Nagoya).
- 137) Preparation of carbon maicrocoisl/nanocois, and their properties, S. Motojima, X. Chen, and S. Yang “Encyclopedia of Nanoscience and Nanotechnology”,(Am Sci. Publishers)(to be published). Nanohelical/sprial materials, S. Motojima and X. Chen, Encyclopedia of Nanosci. and Nanotech., Ed. by H. S. Nalwa (American Science Publisher), 6, 775-794(2004).
- 138) 美しきミクロの世界、科学機器、2002年7月号、pp.12-18(2002).
- 139) 強磁場を用いたカーボンマイクロコイルの磁気特性評価とキラル分割法の開発、元島栖二、藤井光広、淡路智、渡辺和雄、東北大学金属材料研究所強磁場超電導材料研究センター、平成13年度年次報告、pp.171-172(2002).
- 140) Vapor phase preparation and some properties of carbon micro-coils/nano-coils, S. Motojima, Y. Hishikawa and H. Iwanaga, Recent Res. Devel. Mat. Sci., 3, pp.633-662(2002).
- 141) ニューカーボンファミリー、「化学便覧応用化学編」(朝倉書店)、pp.942-945(2003).
- 142) カーボンマイクロコイルが持つ、無限の可能性に挑む、KBC タイムス (KBC 共立ビジネスクラブ)、Vol.21、pp.6-7(2003.3).
- 143) カーボンマイクロコイルの電磁波吸収材への応用、元島栖二、岩永 浩、「カーボンナノチューブの大量生産・低コスト化技術と応用展開」(技術情報協会)、pp.214-222(2003).
- 144) DNAと同じ構造を持つ革新的新素材カーボンマイクロコイル/ナノコイル(CMC)、化学と教育、51(7)、pp.418-419(2003).
- 145) カーボンナノコイル、キーテクノロジー、pp.42-43.
- 146) 岐大発 オリジナル・オンリーワン技術、革新的新素材 “カーボンマイクロコイル/ナノコ

- イル (CMC) ”、岐大のいぶき、No.5、pp.4(2003).
- 147) ナノテクが未来を創る、Science Talk 2(SHIMADZU)、pp.4-5(2003).
- 148) セラミック・マイクロコイル、元島 栖二、岩永 浩、「マイクロマシン技術総覧」(マイクロマシン技術総覧編集委員会編)、pp.426-435(2003) .
- 149) 新炭素系材料による水素吸蔵、古谷吉男、元島 栖二、ケミカルエンジニアリング、48(12)、pp.49-55(2003).
- 150) 強磁場下でのカーボンマイクロコイル/弾力性シリコン樹脂複合体の調整と触覚センサー特性評価、元島 栖二、竹内浩太郎、淡路 智、渡辺和男、東北大学金属材料研究所強磁場超伝導材料研究センター、平成 15 年度年次報告、pp.117-179(2003).
- 151) カーボンマイクロコイル(CMC)、元島 栖二、マテリアルインテグレーション、17(6)、1-6(2004).
- 152) 特集「ヘリカル/らせん構造物質・材料とその応用」—特集に寄せて—、元島 栖二、マテリアルインテグレーション、17(7)、pp.1(2004).
- 153) 3D-ヘリカル/らせん構造物質・材料について、元島 栖二、マテリアルインテグレーション、17(7)、pp.3-7(2004).
- 154) カーボンマイクロカーボンマイクロコイル(CMC)の合成、モルフォロジー及び基本物性、元島 栖二、マテリアルインテグレーション、17(7)、pp.8-15 (2004).
- 154) ' Advance in research of carbon micro/nano-coils abroad, X. Chen, and S. Motojima , Materials integration, 17(7), 34-44(2004).
- 155) コイルの GHz 領域の電磁波吸収特性、元島 栖二、「次世代電磁波吸収体の技術と応用展開」pp.166-188(2004).
- 156) カーボンマイクロコイル(CMC)、「エレクトロニクス用カーボン技術大全集」(技術情報協会)、pp.77-90(2004).
- 157) カーボンマイクロコイルの GHz 領域の電磁波吸収特性、「エレクトロニクス用カーボン技術大全集」(技術情報協会)、pp.566-580(2004).
- 158) カーボンマイクロコイル(CMC)の合成とその応用、元島 栖二、応用物理、73(10)、pp.1324-1327(2004).
- 159) カーボンマイクロコイル(CMC)の応用、元島 栖二、セラミックデータブック 2004 “工業と製品”(工業製品技術協会)、32(86)、pp.153-155(2004).
- 110) 新しい電磁波吸収体、カーボンマイクロコイル、元島 栖二、岩永 浩、V.K. Varadam、「新電波吸収体の最新技術と応用」(分担執筆、監修：橋本 修、シーエムシー) 普及版、pp. 101-112(2004).
- 160) 《研究室紹介》岐阜大学工学部応用化学科物質機能工学講座、元島 栖二、PHOSPHORUS LETTER (日本無機リン化学会)、50、pp.30-31(Jun 15, 2004).
- 161) 単行本「ビジュアルガイド、ミクロの世界」、岩永浩、元島 栖二、(シーエムシー技術開発)、2004/11/25 発行.
- 162) Preparation of carbon microcoils/elastic polysilicone composites under high magnetic field and the tactile sensor property、S. Motojima, K. Takeuchi, S. Awaji and K. Watanabe、東北大学金属材料研究所・強磁場超伝導材料センタ年次報告、Volume Date 2003、177-179 (2004). 150 と同じ
- 163) カーボンマイクロコイル(CMC)を用いた超高感度触覚センサー、元島 栖二、河辺憲次、セラミックス、40(2)、pp.111-114(2005).
- 164) トンネル構造、層状構造、かご状構造、活性炭、ナノチューブ、フラーレン、ナノコイル、元島 栖二、「セラミックス辞典」(2005 末、発行予定).
- 165) カーボンマイクロコイル(CMC) の合成、物性及び応用、元島 栖二、陳 秀琴、粉体工学会誌、42(10)、pp.715-720(2005).
- 166) 3D-ヘリカル/らせん構造のセラミックス材料の創製とその特性、元島 栖二、陳 秀琴、鉦山、58(6)、pp.38-48(2005).
- 167) カーボンマイクロコイル(CMC)を活用した超高感度触覚センサーの開発、元島 栖二、陳 秀琴、「超 5 感センサの最前線」(分担執筆、エヌ・ティー・エス )、pp.299-309 (2005/11/25 発行).
- 168) カーボンマイクロコイル(CMC)の合成とその応用、元島 栖二、ハイテクインフォーメーシ

- ヨン (中国技術振興センター)、164、pp.14-17(2005/9).
- 169) カーボンマイクロコイルに見る自己組織化現象、元島栖二、陳 秀琴、SEN'I GAKKAISI(繊維と工業)、62(5)、pp.146(16)-147(17)(2006).
- 170) らせん構造を持つカーボンマイクロコイル (CMC)、元島栖二、陳 秀琴、化学と教育(日本化学会)、54(3)、pp.146-147(2006).
- 171) カーボンマイクロコイル (CMC) の電波吸収材への応用、セラミックス、41(1)、pp.41-43(2006).
- 172) CMC を活用した電波の可視化技術、電子レンジの中の電波が見える、検査技術(日本工業出版)、10、pp.55-58(2006).
- 173) Vapor phase preparation and some properties of carbon microcoils (CMCs), X. Chen and S. Motojima, Kona, 24, pp.222-226(2006).
- 174) Preparation and characterization of carbon microcoils(CMCs), S. Motojima and X.Chen, Bull. Chem. Soc. Jpn, 80(3), (2007), (in press).
- 175) カーボンマイクロコイル、未来材料、